

今後の自動車排出ガス・騒音規制のあり方について、検討を進めます。

1. 事業目的

- ① 大気汚染や騒音に係る環境基準達成に向け、実環境における排出ガス低減や騒音低減に資する効果的な対策を検討する。
- ② 中央環境審議会の答申に示された課題の検討を行い、自動車排出ガス及び騒音の許容限度等の改正を行う。

2. 事業内容

環境基準達成のため、規制値見直し、試験法の検討等が不可欠。このため、以下の調査を実施する。

- ・ 車両騒音シミュレーション手法の開発及び追加騒音規定の見直しのための様々な走行条件における騒音レベルの調査
- ・ 路上走行検査におけるNOxのCF値（台上試験の規制値に対する倍数）の強化及びPM粒子数のCF値の導入に向けた検討
- ・ 温度補正を含む排出原単位及び総量算定方法の見直し
- ・ 特殊自動車の排出ガス規制見直し検討のための排出原単位及び総量算定調査
- ・ 大気環境配慮型SS認定制度の運営及び認知度向上に向けた広報活動
- ・ NOx後処理装置の使用過程での性能低下メカニズム解明のための調査検討
- ・ PM粒子数規制の国内導入に向けた検討
- ・ ブレーキ・タイヤ摩耗に由来するPM測定及び試験法の検討
- ・ 燃料の重質化に伴う排出ガス量の評価

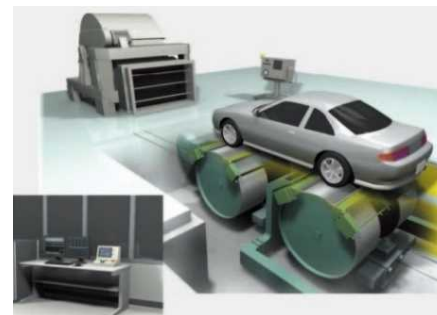
3. 事業スキーム

- | | |
|----------|----------------|
| ■ 事業形態 | 請負・委託事業 |
| ■ 請負・委託先 | 民間事業者・団体、研究機関等 |
| ■ 実施期間 | 平成12年度～ |

4. 委託内容・事業イメージ

自動車排出ガス規制強化等推進事業の例

シャシダイナモ試験による排出ガス量測定



大気環境配慮型SS認定制度の運営及び認知度向上のための広報活動



自動車単体騒音規制強化等推進事業の例

